

まちかど アルバム



かみんぐさじ

6年間の思いを込めて

12月7日(金)、佐治小学校の6年生児童15人が、佐治町福園の和紙生産伝習施設「かみんぐさじ」で、手すき和紙の卒業証書を作りました。児童一人ひとりが和紙をすき、中央に薄緑色の校章を入れた自分だけの証書を作りました。3月の卒業式には、それぞれの名前が書き込まれ、校長先生から手渡されます。

リファーレンいなば

クイズでエコを学ぶ

11月18日(日)、伏野の廃棄物最終処分場「リファーレンいなば」で、「エコフェスタ in2007」が開催されました。会場には、古い布を再利用した手提げ袋や、ペットボトルを加工して作った怪物などが展示されました。また、○×で家庭ごみの分別について学ぶ「ごみごみ博士の分別クイズ」では、大勢の子どもたちが楽しくエコを学びました。



国際交流プラザ

ダンスで国際交流

市内在住の外国人と市民との交流を図ろうと12月8日(土)、湖山町西一丁目の鳥取市国際交流プラザで「DANCE PARTY @ PLAZA」が開催されました。パーティーには、外国からの留学生や鳥取大学の学生のほか、市民など約100人が参加。ペアになって社交ダンスを踊ったり、みんなで一緒にラテンダンスのマカレナを踊ったり、楽しいひとときを過ごしました。



河原歴史民俗資料館

豆腐を食べてうそを帳消しに

12月8日(土)、河原町渡一木の河原歴史民俗資料館で、豆腐を食べて1年間のうそを帳消しにする「うそつき豆腐」が行われました。この行事は、江戸時代の商人が、強い風が吹き大しけの荒れ日とされる旧暦の12月8日に、「誓文開き」として豆腐を食べることで、その1年の商売のうそを消したことから始まったとも言われています。





国府東小学校

ビオトープが完成

国府東小学校の児童や教師、保護者が1年がかりで整備したビオトープ（生物生息空間）が完成し、完成を祝う式典が11月22日（木）に行われました。これは、社団法人国土緑化推進機構の「学校環境緑化モデル事業」を活用したもので、「ローソン緑の募金」を財源にしています。式典後、児童らが池にメダカやコイの稚魚を放流し、完成を喜びました。

鹿野町総合支所

旧議場で映画を上映

11月17日（土）と18日（日）、鹿野町総合支所にある旧議場で映画が上映されました。「とっとり議場シネマ」と名付けられたこの催しは、市内の若者たちによる「とっとり議場シネマ実行委員会」が企画したものです。旧議場は、傾斜があり、音響にも配慮されていて、映画の鑑賞に最適。県外からの来場者も含め、延べ約150人が映画を楽しみました。



用瀬地区保健センター

民話を楽しく聞く会

用瀬地区保健センターで12月7日（金）、高齢者やデイサービスの利用者を対象に「民話を楽しく聞く会」が開催されました。語り部の多勢久美子さんが、「鶴の恩返し」などの民話を独特の山形弁でおもしろおかしく話しました。観客は、多勢さんの温かさとおかしさを感じる口調に、引き込まれるように聞き入っていました。

鳥取民藝美術館一帯

まち遊びアートフェスタ



12月8日（土）から16日（日）にかけて、鳥取駅前鳥取民藝美術館一帯で「まち遊びアートフェスタ」が開催され、さまざまな展覧会やイベントが行われました。このうち「ギャラリーそら」では、鹿野町で活動する劇団「鳥の劇場」の舞台写真や衣装などが展示され、来場者の目を引いていました。訪れた気高町酒津の森本みゆきさんは、「ぜひ、本物の演劇を見に行きたい」と話していました。

青谷町勝部地区

森を緑のダムに

11月10日（土）、青谷町勝部地区所有の山林で、ボランティア団体「リサイクルの仲間」（代表山田泰彦さん）により、混交林の森づくりが行われました。この日は、地元小学生や学生、ボランティアら50人が参加。落ち葉が堆積する保水力の高い山を造ろうと、杉などの針葉樹が間伐された山にカエデ、コナラなどの落葉樹300本を心を込めて植えました。

